

認定書

国住指第1697号
平成 17年 10月 20日

三菱マテリアル建材株式会社
代表取締役 山村 洋司 様

国土交通大臣 北側



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第八号並びに同法施行令第108条第一号及び第二号(外壁(耐力壁):各30分間)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-0708

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板充てん/木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・けい酸カルシウム板表張/普通合板裏張/木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板充てん／木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・けい酸カルシウム板表張／普通合板裏張／木製軸組造外壁

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目		申 請 仕 様
壁の高さ		構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	真壁	132mm以上
	大壁	137.5mm以上
柱、間柱間隔		500mm以下
壁の構造		真壁又は大壁

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様	
	真壁	大壁
柱 (荷重支持部材)	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の 構造用製材又は構造用集成材 寸法：105×105mm以上 欠き込む場合： 欠き込み深さ：15mm 欠き込み幅：6.0mm	材料：同左 寸法：同左 なし なし
間柱	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の 構造用製材又は構造用集成材 寸法：30×70mm以上（一般部） 45×70mm以上（目地部）	材料： 寸法：30×105mm以上（一般部） 45×105mm以上（目地部）
外装材	材料：窯業系サイディング（JIS A 5422） （以下「サイディング」という） 組成：①、②又は③ ①木繊維補強セメント板（JISの難燃2級以上） A) 木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板 けい酸カルシウム化合物 70～80 質量％ 有機質繊維 10～15 質量％ 無機質繊維 0～5 質量％ 有機質混和材 0～3 質量％ 無機質混和材 10～15 質量％ B) 硬質木片セメント板 セメント質原料 73～78 質量％ 木片 22～27 質量％ ②繊維補強セメント板（JISの難燃1級） セメント質原料 65～85 質量％ 有機質繊維 2～8 質量％ 無機質繊維 0～6 質量％ 有機質混和材 0～3 質量％ 無機質混和材 7～30 質量％ ③繊維補強セメント・けい酸カルシウム板 （JISの難燃1級） けい酸カルシウム化合物 65～96 質量％ 有機質繊維 0～5 質量％ 無機質繊維 0～4 質量％ 有機質混和材 0～3 質量％ 無機質混和材 0～30 質量％ 但し、 ・繊維質原料 有機質：木繊維、ポリビニルアルコール、 パルプ、ポリプロピレン等 無機質：ガラス繊維、ロックウール、 マイカ、セラミック繊維等 ・混和材 有機質：木粉、メチルセルロース、撥水剤等 無機質：パーライト、炭酸カルシウム、 タルク、シラスバルーン等	同左

つづき

<p>外装材</p>	<p>表面化粧： 種類：①～⑥の一 ①アクリルウレタン樹脂系塗料 ②アクリル樹脂系塗料 ③シリコーン樹脂系塗料 ④ふっ素樹脂系塗料 ⑤エポキシ樹脂系塗料 ⑥無機質系塗料（ポリシロキサン系等） 塗布量：200g/m²以下（有機固形分）</p>	<p>同左</p>
	<p>密度：1.1±0.2g/cm³</p>	<p>同左</p>
	<p>形状： 1) 外形寸法 厚さ：12～25mm ・厚さ：12～14mmの場合 幅：最小400～最大1210mm 長さ：最小1820～最大3640mm ・厚さ：15～25mmの場合 幅：最小303～最大910mm 長さ：最小910～最大3640mm 2) 端部形状(図15) (サイディング相互の重なりと隙間) 重なり：6mm以上、隙間：3mm以下 3) 断面形状(図15) 厚さ：12～25mm ・厚さ：12～14mmの場合 最小板厚(中実部)：8mm以上 模様深さ：容積欠損率：8%以下 (但し、板厚12mmを超える場合は裏面から12mmの位置での欠損率とする) ・厚さ：15～25mmの場合 最小板厚(中実部)：11mm以上 模様深さ：容積欠損率：11%以下 (但し、板厚15mmを超える場合は裏面から15mmの位置での欠損率とする) ・中空率：37%以下 (但し、板厚15mmを超える場合は厚さを増した分だけ中空率を上げることができる。)</p>	<p>同左</p>
	<p>張り方：横張、縦張又はよろい張</p>	<p>同左</p>

つづく

つづき

構造用面材	材料：けい酸カルシウム板 (JIS A 5430) 厚さ：9.5mm以上 種類：タイプ2 0.8けい酸カルシウム板及び1.0けい酸カルシウム板 密度：0.6以上1.2未満	同左
断熱材	材料：①～⑤の一 ①ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板 (JIS A 9511) 厚さ：20mm以上 種類：特号、1号、2号、3号又は4号 密度：33kg/m ³ 以下 ②硬質ウレタンフォーム 厚さ：20mm以上 種類：1種1号、1種2号、1種3号 2種1号、2種2号又は2種3号 密度：45kg/m ³ 以下 ③セルローズファイバー (JIS A 9523) 厚さ：70mm以上 密度：55±5kg/m ³ 以下 ④グラスウール (JIS A 9504) 厚さ：20mm以上 密度：10kg/m ³ 以上 ⑤ロックウール (JIS A 9504) 厚さ：20mm以上 密度：20kg/m ³ 以上	同左
内装材	材料：①～⑪の一 ①普通合板 (日本農林規格に適合するもの) 厚さ：5.5mm以上 ②構造用合板 (日本農林規格に適合するもの) 厚さ：5.5mm以上 ③構造用パネル (日本農林規格に適合するもの) 厚さ：5.5mm以上 ④単板積層材 (日本農林規格に適合するもの) 厚さ：5.5mm以上 ⑤構造用単板積層材 (日本農林規格に適合するもの) 厚さ：5.5mm以上 ⑥針葉樹の造作用製材 (日本農林規格に適合するもの) 厚さ：5.5mm以上 ⑦広葉樹の製材 (日本農林規格に適合するもの) 厚さ：5.5mm以上 ⑧建築用防火木材 (JIS A 5801) 厚さ：9mm以上 ⑨インシュレーションファイバーボード (JIS A 5905) 厚さ：9mm以上 ⑩ミディアムデンシティファイバーボード (JIS A 5905) 厚さ：7mm以上 ⑪ハードファイバーボード (JIS A 5905) 厚さ：7mm以上	同左

つづき

内装材	<p>⑫けい酸カルシウム板 (JIS A 5430) 厚さ：6mm以上</p> <p>⑬スレートボード (JIS A 5430) 厚さ：6mm以上</p> <p>⑭スラグせっこう板 (JIS A 5430) 厚さ：6mm以上</p> <p>⑮パーティクルボード (JIS A 5908) 厚さ：9mm以上</p> <p>⑯せっこうボード又は強化せっこうボード (JIS A 6901) 厚さ：9.5mm以上</p> <p>⑰火山性ガラス質複層板 (JIS A 5440) 厚さ：6mm以上</p> <p>⑱パルプセメント板 (JIS A 5414) 厚さ：6mm以上</p> <p>⑲硬質木片セメント板又は普通木片セメント板 (JIS A 5404) 厚さ：12mm以上</p> <p>⑳硬質木毛セメント板又は普通木毛セメント板 (JIS A 5404) 厚さ：15mm以上</p>	
-----	---	--

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様	
	真壁	大壁
受材	材料：①又は② ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は下地用製材 寸法：30×40mm以上 ②なし	同左
縦胴縁又は横胴縁	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は下地用製材 寸法：15×45mm以上（一般部） 15×90mm以上（目地部）	同左
ころび止め	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は下地用製材 寸法：45×70mm以上	同左
防水紙	材料：透湿防水シート（JIS A 6111） 厚さ：0.2mm以下 材質：①、②又は③ ①ポリエチレン ②ポリエステル ③ポリプロピレン	同左
目地部材	材料：①～⑥の一（図16） ①建築用シーリング材（JIS A 5758） 材質：1)～6)の一 1) ポリウレタン系樹脂 2) 変成ウレタン系樹脂 3) ポリサルファイド系樹脂 4) 変成ポリサルファイド系樹脂 5) シリコーン系樹脂 6) 変成シリコーン系樹脂 使用量：56±5g/m以上 目地幅：8～12mm ②ハット形ジョイナーとシーリング材（①仕様）との併用 ジョイナーの材質：1)～11)の一 1) 熔融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302） 2) 塗装熔融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3312） 3) 熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板（JIS G 3317） 4) 塗装熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板（JIS G 3318） 5) 熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板（JIS G 3321） 6) 塗装熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板（JIS G 3322） 7) ポリ塩化ビニル被覆金属板（JIS K 6744） 8) 熱間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4304） 9) 冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305） 10) 塩化ビニル樹脂 （但し、①シーリング材充てん量56g/m以上） 11) ポリプロピレン （但し、①シーリング材充てん量56g/m以上） 厚さ 1)～9)：0.25mm以上 厚さ 10)、11)：0.3mm以上 目地幅：8～12mm	同左

つづき

目地部材	<p>③バックアップ材とシーリング材(①仕様)との併用 バックアップ材の材質:1)又は2) 1)発泡ポリエチレン 2)発泡ポリスチレン 幅:8~12mm 厚さ:3~30mm</p> <p>④金属ジョイナー(材質:②1)~9)仕様のー) 形状:H形 厚さ:0.25mm以上</p> <p>⑤本実、合いじゃくり ⑥突付け目地</p>	同左
留付材	<p>外装材固定用: 材料:①、②又は③ ①スクリークぎ(JIS A 5508) 寸法:胴部径φ2.3×長さ38mm以上 ②リングくぎ(JIS A 5508) 寸法:胴部径φ2.3×長さ38mm以上 ③タッピンねじ(JIS B 1122) 寸法:呼び径φ3.0×長さ25mm以上 留付間隔:303mm以下 留付位置:板端部より20mm以上内側</p>	同左
	<p>胴縁固定用及びころび止め固定用: 材料:①又は② ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法:N45以上 ②十字穴付き木ねじ(JIS B 1112): 寸法:呼び径φ3.8×長さ40mm以上 留付間隔:500mm以下</p>	同左
	<p>構造用面材固定用: 材料:①又は② ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法:N50以上 ②十字穴付き木ねじ(JIS B 1112): 寸法:呼び径φ3.8×長さ40mm以上 留付間隔:500mm以下</p>	同左
	<p>内装材固定用: 材料:①又は② ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法:N30以上 ②十字穴付き木ねじ(JIS B 1112): 寸法:呼び径φ3.1×長さ25mm以上 留付間隔:330mm以下</p>	同左

つづく

つづき

留付材	防水紙固定用： 材料：工業用ステープル（JIS A 5556） 材質：①又は② ①ステンレス鋼線（JIS G 4309） ②鉄線（JIS G 3532） 寸法：内幅9.6mm以上、足長10mm以上 留付間隔：300mm以下	同左
	受材固定用：（受材を使用する場合） 材料：鉄丸くぎ（JIS A 5508） 寸法：N75以上 留付間隔：300mm以下	同左
	断熱材固定用（仮留め）： 材料：①又は② ①なし ②工業用ステープル（JIS A 5556） 材質：1)又は2) 1) ステンレス鋼線（JIS G 4309） 2) 鉄線（JIS G 3532） 寸法：内幅9.6mm以上、足長10mm以上 留付間隔：300mm以下	同左

5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1～図16に示す。

- 内訳；図1～図8 ：真壁造（欠き込み）仕様
 図9及び図10 ：真壁造（欠き込み）仕様（構造用面材が柱を覆う場合）
 図11及び図12 ：真壁造（受材）仕様
 図13及び図14 ：大壁造仕様

※図9～図14の真壁造（欠き込み）仕様（構造用面材が柱を覆う場合）、真壁造（受材）仕様及び大壁造仕様について、図示した外装材横張仕様（縦胴縁）以外にも、縦張仕様（縦胴縁、横胴縁）、よろい張仕様（縦胴縁、横胴縁）もある。